

# 医学科プログラム

## 平成28年度後期

### 2年次

#### 【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

#### 【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

# 平成28年度 授業時間配当表(医学科2年次)

	後 期(15)											
	Ⅰブロック(6)				Ⅱブロック(5)				Ⅲブロック(4)			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
月	病理学総論	心理学	解剖学実習		病理学総論	心理学	解剖学実習		医学史	心理学	病理学総論	
火	社会環境医学	医療英語	病理学総論		社会環境医学	医療英語	基礎医学実習		基礎医学特論	医療英語	基礎医学実習	
水	病理学総論	社会環境医学	解剖学実習		病理学総論	社会環境医学	解剖学実習		医学史	社会環境医学	基礎医学実習	
木		病理学総論	解剖学実習		病理学総論		基礎医学実習		基礎医学特論	社会環境医学	基礎医学実習	
金		主題 人文社会	解剖学実習			主題 人文社会	解剖学実習		医学史	主題 人文社会	基礎医学実習	

※配当表のとおり実施できない科目がありますので、シラバスを確認すること。  
 ※5時限目等で補講を行う場合がある。休講補講等の通知は掲示板で行うので確認すること。  
 金曜日の主題等は、医療手話、生活と法律 刑法、芸術、哲学入門です。

## 【講義室名】

111講義室(講義・実習棟1階)  
 112講義室(講義・実習棟1階)  
 121講義室(講義・実習棟2階)  
 122講義室(講義・実習棟2階)  
 131講義室(講義・実習棟3階)

211講義室(アレスコ棟1階)  
 221講義室(アレスコ棟2階)  
 231講義室(アレスコ棟3階)  
 261講義室(アレスコ棟6階)  
 262講義室(アレスコ棟6階)

322講義室(総合教育棟2階)  
 323講義室(総合教育棟2階)  
 421講義室(臨床講義棟2階)  
 431講義室(臨床講義棟3階)  
 511講義室(生命科学棟1階)

※各授業の講義室は配当表どおりでない場合があります。下記より詳細を確認できますので、ご活用ください。  
 アクセス方法：鳥取大学医学部ホーム＞医学部関連部門＞医学教育総合センター＞学部教育支援室＞学生・講義室スケジュール  
 URL：<http://www.med.tottori-u.ac.jp/departments/2787/2792/19197.html>

# 平成28年度・七曜表(医学科2年次)

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	1
	10	11	12	13	14	15	16	2
	17	18	19	20	21	22	23	3
5	24	25	26	27	28	29	30	4
	1	2	3	4	5	6	7	5
	8	9	10	11	12	13	14	6
	15	16	17	18	19	20	21	7
6	22	23	24	25	26	27	28	8
	29	30	31	1	2	3	4	9
	5	6	7	8	9	10	11	10
	12	13	14	15	16	17	18	11
7	19	20	21	22	23	24	25	12
	26	27	28	29	30	1	2	13
	3	4	5	6	7	8	9	14
	10	11	12	13	14	15	16	15
8	17	18	19	20	21	22	23	16
	24	25	26	27	28	29	30	試験
	31	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
9	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31	1	2	3	再試
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	1	

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
							1	
	2	3	4	5	6	7	8	1
	9	10	11	12	13	14	15	2
	16	17	18	19	20	21	22	3
10	23	24	25	26	27	28	29	4
	30	31	1	2	3	4	5	5
	6	7	8	9	10	11	12	6
	13	14	15	16	17	18	19	7
11	20	21	22	23	24	25	26	8
	27	28	29	30	1	2	3	9
	4	5	6	7	8	9	10	10
	11	12	13	14	15	16	17	11
12	18	19	20	21	22	23	24	12
	25	26	27	28	29	30	31	13
	1	2	3	4	5	6	7	14
	8	9	10	11	12	13	14	15
1	15	16	17	18	19	20	21	16
	22	23	24	25	26	27	28	17
	29	30	31	1	2	3	4	試験
	5	6	7	8	9	10	11	再試
2	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	1	2	3	4	
3	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		

## 備考

- ◆5月6日(金)は水曜日授業
- ◇6月1日(水)は鳥取大学記念日
- ◇7月25日～8月5日は定期試験期間
- ◇9月12日～9月30日は再試験期間
- ◆10月11日(火)は月曜日授業
- ◆12月28日(水)は金曜日授業
- ◇1月13日(金)午後は休講
- ◇1月30日～2月10日は定期試験期間
- ◇2月13日～2月24日は再試験期間

	月曜日の授業
	火曜日の授業
	水曜日の授業
	木曜日の授業
	金曜日の授業

## ※構内立入禁止

- 1月13日(午後)・14日・15日(センター試験)
- 2月11日(推薦入試)
- 2月25日・26日(前期入試)
- 3月12日(後期入試)
- (その他随時追加される場合がある)

## 医学科2年次科目(後期)

### 教養科目

#### 【主題科目】

医療手話……………1年次 参照

#### 【基幹科目】

(人文・社会分野)

生活と法律 刑法……………1年次 参照

芸術……………1年次 参照

哲学入門……………1年次 参照

心理学……………1

### 外国語科目

医療英語Ⅱ(ウィルシャークラス)……………2

医療英語Ⅱ(戸野クラス)……………3

医療英語Ⅱ(ジアディーンクラス)……………4

### 専門科目

#### 【医学入門科目】

医学史……………5～6

#### 【基礎医学科目】

解剖学実習……………7～8

病理学総論……………9～11

社会環境医学……………12～13

基礎医学実習……………14

基礎医学特論……………15

## 心理学

科目到達目標:心理学の基礎をふまえて、より深い人間理解が可能な知識を習得する。

科目責任者(所属教室):兼子 幸一(精神行動医学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/3(月)	2	121	医学的心理学	未定	未定	心理学の基本概念について概説できる。	心理学の歴史、発展
2	10/11(火)	2	121	感覚、知覚	長田 泉美	精神科	脳機能における知覚の機能を説明できる。	知覚、連合学習
3	10/17(月)	2	121	発達心理学1	井上 雅彦	臨床心理学	人間の心理的な発達について、理解し説明できる。	認知・思考・情緒・社会性の発達
4	10/24(月)	2	121	認知心理学	朴 盛弘	精神行動医学	認知心理学の概要について説明できる。	視覚認知、錯覚、順応
5	10/31(月)	2	121	高次神経機能	朴 盛弘	精神行動医学	高次神経機能障害及びその検査法について説明できる。	注意、記憶、遂行機能、ワーキングメモリー
6	11/7(月)	2	121	記憶	松村 博史	精神科	脳機能における記憶の機能を説明できる。	海馬、空間
7	11/14(月)	2	121	情動	長田 泉美	精神科	情動と自律神経系、記憶との関係を説明できる。	情動、扁桃体、条件付け学習、視床下部
8	11/21(月)	2	121	心理テスト1(知能・発達)	井上 雅彦	臨床心理学	知能・能力とその査定法について説明できる。	知能検査、知能指数、精神発達遅滞、認知症
9	11/28(月)	2	121	心理テスト2(人格特性)	最上 多美子	臨床心理学	人格とその査定法について説明できる。	性格類型、人格検査、評価尺度
10	12/5(月)	2	121	発達心理学2	兼子 幸一	精神行動医学	ピアジェの発達理論、エリクソンのライフサイクル理論、社会認知機能の発達	ピアジェの発達理論、エリクソンのライフサイクル理論、社会認知機能(心の理論、感情認知、共感性)
11	12/12(月)	2	121	精神療法概論1 (精神力動論 1)	松村 博史	精神行動医学	精神療法の歴史と力動的精神療法の原理・技法について説明できる。	フロイト、ユング、自由連想法、対象関係論、病態水準論
12	12/19(月)	2	121	精神療法概論2 (行動療法)	井上 雅彦	臨床心理学	学習理論と行動療法の原理・技法について説明できる。	学習、条件付け、応用行動分析、系統的脱感作、リラクゼーション
13	12/26(月)	2	121	人間関係と社会心理学	横山 勝利	精神行動医学	現代社会における人間関係の心理について概説できる。	社会心理学、コミュニケーション
14	1/16(月)	2	121	精神療法概論3 (認知行動療法)	最上 多美子	臨床心理学	認知行動療法の原理・技法、また生活技能訓練や心理教育への応用について説明できる。	認知行動療法、心理教育、生活技能訓練
15	1/23(月)	2	121	精神療法概論4 (精神力動論 2)	松村 博史	精神行動医学	精神療法の歴史と力動的精神療法の原理・技法について説明できる。	フロイト、ユング、自由連想法、対象関係論、病態水準論

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、7

学位授与の方針との関連:1、2、3

評価:定期試験

## 医療英語Ⅱ（ウィルシャークラス）

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker

科目責任者(所属教室): ティム・ウィルシャー(基礎看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(火)	2	121	Introduction - Unit 2	ウィルシャー	基礎看護学	The Island of Nauru	obese, diabetes, stroke, processed foods, represent, mining, life expectancy
2	10/18(火)	2	121	Unit 5	ウィルシャー	基礎看護学	Humor and Laughter	ironically, humanity, relief, wrestling, tickled, desires, rewards, impression, show off
3	10/25(火)	2	121	Unit 7	ウィルシャー	基礎看護学	Nutrition and Exercise	mental benefits, depression, confidence, oxygen, posture, circulation
4	11/1(火)	2	121	Unit 8	ウィルシャー	基礎看護学	The Different Layers of the Brain	reptile, emotional, instincts, nightmare, sweat, get even, rivalry, aggressive, reacting
5	11/8(火)	2	121	Unit 9	ウィルシャー	基礎看護学	Technology Addiction	overwhelmed, gadgets, boast, treatment, around the clock, cravings, attention span
6	11/15(火)	2	121	Unit 10	ウィルシャー	基礎看護学	Mirror Neurons	speculated, empathy, exquisitely, clap hands, behaviors, no proof, phenomenon
7	11/22(火)	2	121	Midterm Assessment - Review	ウィルシャー	基礎看護学	復習	復習
8	11/29(火)	2	121	Midterm Assessment - Review	ウィルシャー	基礎看護学	復習	復習
9	12/6(火)	2	121	Unit 11	ウィルシャー	基礎看護学	The Science of Happiness	mental illness, a downer, half-baked, satisfying, resilience, habits, well-being, genuine
10	12/13(火)	2	121	Unit 12	ウィルシャー	基礎看護学	Sugar Addiction	artificial sweetener, loaded, craves, addictive, evidence, nutrients, withdrawal
11	12/20(火)	2	121	Unit 15	ウィルシャー	基礎看護学	Male and Female Brains	generalizations, advances, connections, gossip, selfish, empathy, embrace
12	12/27(火)	2	121	Unit 17	ウィルシャー	基礎看護学	Right Brain - Left Brain	warning label, nicotine, premature, secondhand, preventable, organ, mood
13	1/10(火)	2	121	Review, extra study	ウィルシャー	基礎看護学	復習	復習
14	1/17(火)	2	121	Writing/Speaking Assessment	ウィルシャー	基礎看護学	試験	試験
15	1/24(火)	2	121	Speaking Assessment (continued)	ウィルシャー	基礎看護学	試験	試験

教育グランドデザインの関連: 1, 2, 4

学位授与の方針との関連: 2, 4

評価: 定期試験 70% 参加 30%

教科書: Life Topics: Deeper Connections, 2016年, Nan'Un-Do

## 医療英語Ⅱ(戸野クラス)

科目到達目標:医療に関連した英文読解、英作文の力をつける

科目責任者(所属教室):戸野 康恵(非常勤講師)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(火)	2	261	Organs	戸野 康恵	非常勤講師	臓器の名称と働きを知る。	organs
2	10/18(火)	2	261	Prenatal Ultrasound	戸野 康恵	非常勤講師	超音波検査の適切な使用について説明する。	ultrasound, radiation, fetus
3	10/25(火)	2	261	Vaccination	戸野 康恵	非常勤講師	予防接種の重要性について説明する。	vaccine, childhood diseases
4	11/1(火)	2	261	Drugs	戸野 康恵	非常勤講師	抗生物質の適切な使用について説明する。	antibiotic resistance
5	11/8(火)	2	261	Fertility	戸野 康恵	非常勤講師	不妊治療に関する助言をする。	ART, IVF, pregnancy
6	11/15(火)	2	261	Musculoskeletal System	戸野 康恵	非常勤講師	体の部位、骨格、筋肉に関する語彙を知る。	body parts, bone, joint, muscle
7	11/22(火)	2	261	Injury	戸野 康恵	非常勤講師	傷害の原因を理解し、治療について説明する。	knee injury, surgery, rehabilitation
8	11/29(火)	2	261	Stroke	戸野 康恵	非常勤講師	脳卒中の症状、予後について理解する。	symptom, prognosis, disability
9	12/6(火)	2	261	Rehabilitation	戸野 康恵	非常勤講師	脳卒中後のリハビリテーションについて説明する。	movement, activity, assistance, independence
10	12/13(火)	2	261	Dietary Supplements	戸野 康恵	非常勤講師	サプリメントの有用性について説明する。	supplement, effectiveness, safety and risk
11	12/20(火)	2	261	Complementary health	戸野 康恵	非常勤講師	補完医療について理解する。	natural products, mind and body practices
12	12/27(火)	2	261		戸野 康恵	非常勤講師	補完医療の例を説明する。	
13	1/10(火)	2	261	Addiction	戸野 康恵	非常勤講師	依存症の仕組みを理解する。	drug, alcohol, brain
14	1/17(火)	2	261		戸野 康恵	非常勤講師	依存症の治療と予防について説明する。	behavioral therapy
15	1/24(火)	2	261	試験	戸野 康恵	非常勤講師		

教育グランドデザインの関連:1, 2, 4

学位授与の方針との関連:2, 4

指定教科書:教材はその都度配布します。

評価:定期試験60%、小テスト20%、課題提出20%

## 医療英語Ⅱ (ジアディークラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker

科目責任者(所属教室): マーク・ジアディーン(非常勤講師)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(火)	2	262	Introduction - Unit 2	ジアディーン	非常勤講師	The Island of Nauru	obese, diabetes, stroke, processed foods, represent, mining, life expectancy
2	10/18(火)	2	262	Unit 5	ジアディーン	非常勤講師	Humor and Laughter	ironically, humanity, relief, wrestling, tickled, desires, rewards, impression, show off
3	10/25(火)	2	262	Unit 7	ジアディーン	非常勤講師	Nutrition and Exercise	mental benefits, depression, confidence, oxygen, posture, circulation
4	11/1(火)	2	262	Unit 8	ジアディーン	非常勤講師	The Different Layers of the Brain	reptile, emotional, instincts, nightmare, sweat, get even, rivalry, aggressive, reacting
5	11/8(火)	2	262	Unit 9	ジアディーン	非常勤講師	Technology Addiction	overwhelmed, gadgets, boast, treatment, around the clock, cravings, attention span
6	11/15(火)	2	262	Unit 10	ジアディーン	非常勤講師	Mirror Neurons	speculated, empathy, exquisitely, clap hands, behaviors, no proof, phenomenon
7	11/22(火)	2	262	Midterm Assessment - Review	ジアディーン	非常勤講師	復習	復習
8	11/29(火)	2	262	Midterm Assessment - Review	ジアディーン	非常勤講師	復習	復習
9	12/6(火)	2	262	Unit 11	ジアディーン	非常勤講師	The Science of Happiness	mental illness, a downer, half-baked, satisfying, resilience, habits, well-being, genuine
10	12/13(火)	2	262	Unit 12	ジアディーン	非常勤講師	Sugar Addiction	artificial sweetener, loaded, craves, addictive, evidence, nutrients, withdrawal
11	12/20(火)	2	262	Unit 15	ジアディーン	非常勤講師	Male and Female Brains	generalizations, advances, connections, gossip, selfish, empathy, embrace
12	12/27(火)	2	262	Unit 17	ジアディーン	非常勤講師	Right Brain - Left Brain	warning label, nicotine, premature, secondhand, preventable, organ, mood
13	1/10(火)	2	262	Review, extra study	ジアディーン	非常勤講師	復習	復習
14	1/17(火)	2	262	Writing/Speaking Assessment	ジアディーン	非常勤講師	試験	試験
15	1/24(火)	2	262	Speaking Assessment (continued)	ジアディーン	非常勤講師	試験	試験

教育グランドデザインの関連: 1, 2, 4

学位授与の方針との関連: 2, 4

評価: 定期試験 70% 参加 30%

教科書: Life Topics: Deeper Connections, 2016年, Nan'Un-Do



## 医学史

科目到達目標: 医学の歴史を通じて医学・医療の考え方の全体像(体系)を学ぶ。

科目責任者(所属教室): 久留 一郎(再生医療学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	1/16(月)	1	121	医学の歴史(1): 呪術的医療から古代ギリシャで発達した形而上学的医学や現代医学に通ずる自然治癒説・体液・固体病理説を考える。次に西欧ルネサンス期の医学を概説し、医学が解剖学・生理学・病理学の順に発展してゆく様を理解する。個体病理説は「ベッド・サイト」医学へと昇華され、病院医学の中心となる。	久留 一郎	再生医療学	古代ギリシャの自然哲学を基盤とした体液・固体病理説や自然治癒説を基に疾患を考える概念を理解するし、同時に確立された医の倫理の礎であるヒポクラテスの誓いを学ぶ。教会の権威に基づく形而上学的医学から脱却し、西欧ルネサンス期に、生物の形態の背景にある力学的原理から出発した解剖学と生理学の発展を理解する。「ベッド・サイト」教育の確立と「ハリ」病院医学の発展を通して、視診・触診・打診・聴診の確立、特に打診法と聴診器の開発の経緯を考える。病気は局在するという概念から解剖学的変化を生前の症状と比較する個体病理説の進歩と病理学の発展を知る。	ヒポクラテス、ガレノス、ウェザリウス、パレ、ハーウィー、パラケルスス、サントリオ、シデナム、モルガンニー、ブールハーフェ、アウエンブルガー、ラエンエック
2	1/17(火)	1	121	医学の歴史(2): 外科学の発展の一例として、心臓外科学の発展をとりあげ、どのような問題点があり、その解決のために先人がどのような努力を積み重ねて、現在に至っているかを述べる。	西村 元延	器官再生外科学	心臓外科学の現況を知るとともに、様々な問題の解決のためにどのような取り組みがなされてきたかを理解する。臓器移植や人工臓器を用いた臓器置換療法の現況と問題点を知る。	開心術、人工心肺装置、心筋保護法、人工心臓、人工臓器
4	1/18(水)	1	121	医学の歴史(4): 公衆衛生の歴史、つまり、共同生活の組織的な努力を通じて疾病を予防してきた歴史について概説する。	黒沢 洋一	健康政策医学	人類の歴史は共同生活の組織的な努力を通じて疾病を予防してきた歴史でもある。上下水道の整備、検疫制度、予防接種、職業病対策、近代の医療・保健・福祉制度、健康増進運動、などである。その中で現在の医学・医療の役割を理解する。	ヒポクラテス、水道、下水道、検疫制度、職業病、ラマッチーニ、衛生統計、チャドウィック、産業革命、イギリスにおける労働者階級の状態、公衆衛生法、コッホ、ベッテンコフナー、病原菌説、多要因説、病気の三要因、予防接種、ナイチンゲール、世界保健機関(WHO)、健康増進
3	1/19(木)	1	121	医学の歴史(3): 体液病理説は実験医学と結びつきながら生理学や生命科学へと、個体病理説は細胞病理学へと昇華して行く経過を理解する。感染症の克服を通しての細菌病理学や細胞病理学の成り立ちを概説し、この考えが外科学へと応用されてゆくプロセスを理解する。	久留 一郎	再生医療学	体液病理説の考え方はその中心を血液から神経活動へと移し、その過程で生命とは何かという命題と関連して行く経過を理解する。イギリスにて発展した、実験医学と、これをもとにした感染症との闘いからワクチン療法の発展を知る。個体病理説は病気の場はどこにあるのかという命題を追跡し、細胞病理学に到達する。「細胞は細胞から生ずる」という細胞病理学の発展は自然発生説で説明されてきた感染症の考えを一新し、病理細菌学の発展とその内科・外科的治療法に結びついていることを理解する。さらにペニシリンを始めとする化学療法の発達を知る。	ハラー、カレン、ビンヤ、ミューラー、ハンター、ジェンナー、ウィルヒョウ、バスター、コッホ、ゼンメルワイス、リスター、エーリッヒ、フレミング、フローリー
5	1/23(月)	1	121	医学の歴史(5): 脳が行動と情動を支配する中枢であることが明らかにされるまでの歴史を理解し、脳の機能の解析と病気の研究の背景にある現在までの進歩を理解する。	兼子 幸一	精神行動医学	運動や行動の中枢が脳であることが明らかになった時代、神経学的診察と脳の病巣診断による古典的神経診断学が確立された時代を経て、様々な神経疾患や精神疾患に対する、分子生物学的、生理学的、神経画像学的なアプローチを可能にした脳科学の発展とその最前線について学ぶ。	脳解剖、大脳の機能的マップ、失語症、Brodmanマップ、CT、MRI、PET、神経疾患、精神疾患

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
6	1/24(火)	1	121	医学の歴史(6): 病気の場合はどこにあるのかを可視化する技術や化学・物理学を基盤とした生理学が確立してゆく。内分泌学の進歩や病理思想の全体・統合を目指した展開を学ぶ。さらに生化学と分子生物学が融合することで、構造と機能を結び付けて理解する時代の到来を概説する。さらに外科学の進歩と臓器移植法の開発の延長線上に、拒絶反応を抑制する免疫抑制や万能細胞を用いた再生医学の発展があることを述べる。	久留 一郎	再生医療学	解剖学的診断法として検眼鏡に始まり、内視鏡・レントゲン線の応用と生きている身体内の病理解剖学を勉強する理想的な方法となる経過を理解する。生化学と分子生物学が発展し、細胞の機能とその構造との関連が解明され、一方で、細胞病理学から細胞の系統が体の機能を担い、神経・ホルモン・体液による統合作用が重要であるという生体の統合的理解への病理思想の展開を知る。ホルモンを介した一連の適応現象とフィードバック機構から自然治癒説の本態を理解する。自然免疫と獲得免疫のメカニズムの解明の経緯を理解し、拒絶反応の臓器移植や人工臓器を駆使する外科学の発展と、万能細胞からの再生医療の発達とこの技術を用いたクローン技術の発達を知る。	ヘルナール、ヘルムホルツ、ハプロフ、セリエ、ランド・シュタイナー、ドーセ、メダワー、メルル、マレイ、再生医学
7	1/25(水)	1	121	医学の歴史(7): 医薬はまじない、祈祷の道具から、エジプト、メソポタミア、インド、中国など古代文明の発祥と共に草根木皮、鉱物、動物由来物など薬理作用を持つものが利用されるようになり、薬は病気を治し健康に利するものとの概念ができあがった。この自然物利用から、工業的合成となった製薬の歴史、心理的効果から科学的な薬効評価法の確立、薬物治療の倫理的側面などの歴史的変遷を述べる。	長谷川 純一	薬物治療学	古代文明の中で発達した薬物治療の文化的側面を理解する。生体機能の修飾には有益な物ばかりではなく有害となる可能性もあることを理解する。科学的な薬効評価法を理解し、現代においてもありふれている非科学的薬効表現の批判的吟味ができる。近年の製薬工業の発展と新たな方向を理解する。薬物治療に関わる倫理的判断基盤の確立を目指す。	呪術、生薬、古代文明、大国主命、和漢薬、西洋薬、万能薬、薬局方、薬局・薬店、売薬無効論、OTC薬、薬効評価、主作用と副作用、高分子化合物、抗体医薬、ケム創薬
8	1/27(金)	1	122	まとめ	久留 一郎	再生医療学	学んだ知識を総括し、医学を学ぶ上での医学史の重要性を認識する。	

教育ブランドデザインとの関連: 1, 7

学位授与の方針との関連: 1

評価: 試験(1月27日1限の後半に実施予定) 50%

レポート なし 授業態度 50%

参考書: 医学の歴史 梶田 昭(著) 講談社学術文庫

## 解剖学実習

科目到達目標: 人体の構造とマクロ病変を説明できる

科目責任者(所属教室): 海藤 俊行(解剖学)

回数	月日	時限	講義室	実習内容 (頭側担当者)	実習内容 (尾側担当者)	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/3(月)	3・4・5.5	323 解剖	頸、胸部の剥皮	胸、腹部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	皮膚の構造、脈管・神経の区別	体表、真皮、皮下組織、胸腹部の皮静脈、乳腺
2	10/5(水)	3・4・5.5	解剖	頸、胸部の剥皮	胸、腹部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	Dermatomeの概念、胸腹部浅層の局所解剖	広頸筋/脊髄神経の前・外側皮枝
3	10/6(木)	3・4・5.5	解剖	頸部(浅層)の観察	肩胛部表層の解剖	解剖学 講座教員	解剖学	頸部浅層/肩胛部表層の局所解剖	頸部浅層の静脈・神経、胸鎖乳突筋/浅鼠径輪
4	10/7(金)	3・4・5.5	解剖	頸部(深層)の観察	大腿部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	頸部深層の局所解剖/大腿の皮神経・皮静脈	舌骨下筋群、内頸静脈、総頸動脈/伏在裂孔、 大腿の皮神経
5	10/12(水)	3・4・5.5	解剖	頸部(深層)の観察	下腿・足背・上肢の 剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	頸部深層の局所解剖/上肢と下肢の皮神経・皮 静脈	頸神経ワナ/上肢と下肢の皮神経・皮静脈
6	10/13(木)	3・4・5.5	解剖	上肢・下肢(後面) の剥皮	殿部の剥皮	解剖学 講座教員	解剖学	上肢と下肢の皮神経・皮静脈/殿部の皮神経	上肢と下肢の皮神経・皮静脈/上・中・下殿皮神 経、大殿筋
7	10/14(金)	3・4・5.5	解剖	背部の剥皮	殿部深層	解剖学 講座教員	解剖学	背部浅層の神経/殿部深層の局所解剖	脊髄神経後枝/大・中・小殿筋
8	10/17(月)	3・4・5.5	解剖	背部の筋	殿部深層と大腿屈 側	解剖学 講座教員	解剖学	背部の筋/殿部深層と大腿屈側の局所解剖	僧帽筋、広背筋、前鋸筋/大坐骨孔、坐骨神経、 大腿二頭筋
9	10/19(水)	3・4・5.5	解剖	浅胸筋	大腿伸側	解剖学 講座教員	解剖学	胸部の筋層/大腿伸側の局所解剖	大・小胸筋/大腿三角、大腿四頭筋、大腿動脈と その分枝
10	10/20(木)	3・4・5.5	解剖	腋窩	大腿伸側	解剖学 講座教員	解剖学	腋窩の局所解剖/大腿内側の局所解剖	腋窩リンパ節、腋窩動・静脈/内転筋群
11	10/21(金)	3・4・5.5	解剖	胸郭出口部	下腿前面	解剖学 講座教員	解剖学	胸郭出口部の局所解剖/下腿前面の局所解剖	鎖骨下動脈と腋窩動脈の分枝、前斜角筋/下腿 伸筋群
12	10/24(月)	3・4・5.5	解剖	腕神経叢	足背	解剖学 講座教員	解剖学	腕神経叢の構成/足背の局所解剖	神経幹と神経束、筋皮・腋窩・橈骨・正中・尺骨 神経/下腿伸筋群の腱、短指伸筋
13	10/26(水)	3・4・5.5	解剖	上肢帯と筋	大腿の屈側、膝窩 と下腿後面	解剖学 講座教員	解剖学	上肢帯筋の構成/大腿屈側、膝窩、下腿後面の 局所解剖	三角筋、内側・外側腋窩隙/半腱様筋、半膜様 筋、坐骨神経、膝窩動脈、下腿三頭筋
14	10/27(木)	3・4・5.5	解剖	上腕屈側の筋	膝関節	解剖学 講座教員	解剖学	上腕屈側の局所解剖/膝関節の構造	筋間中隔、上腕二頭筋、上腕動脈/半月、十字 靱帯、側副靱帯
15	10/28(金)	3・4・5.5	解剖	上腕伸側の筋、手 首と手掌の剥皮	股関節	解剖学 講座教員	解剖学	上腕伸側の局所解剖、手首と手掌/股関節の構 造	上腕三頭筋、橈骨神経、屈筋支帯/関節外靱 帯、大腿骨頭靱帯
16	10/31(月)	3・4・5.5	解剖	前腕屈側の筋	肩関節	解剖学 講座教員	解剖学	前腕屈側の局所解剖/肩関節の構造	前腕の屈筋群・血管・神経/肩関節周囲の筋、関 節窩と関節唇
17	11/2(水)	3・4・5.5	解剖	前腕伸側の筋	足底	解剖学 講座教員	解剖学	前腕伸側の局所解剖/足底の局所解剖	伸筋支帯と前腕伸筋群/足底腱膜、短指屈筋な ど
18	11/4(金)	3・4・5.5	解剖	顔面の剥皮	手	解剖学 講座教員	解剖学	顔面浅層の局所解剖/手の局所解剖	表情筋、顔面の動脈/腱鞘、手掌腱膜、母指球 の構成筋
19	11/7(月)	3・4・5.5	解剖	顔面の筋	手	解剖学 講座教員	解剖学	顔面浅層の局所解剖/手の局所解剖	三叉神経と顔面神経、耳下腺/小指球の構成 筋、動脈弓
20	11/9(水)	3・4・5.5	解剖	前胸壁の除去	腹部の筋、腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	胸郭の構造/腹部の筋の構成、腹膜のヒダ	肋間筋、肋間神経・動脈・静脈、壁側胸膜/腹直 筋、外・内腹斜筋、腹横筋、正中臍ヒダなど
21	11/10(木)	3・4・5.5	解剖	縦隔と胸膜	腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔の区別と構造/腹膜の構造、腹部内臓の位 置	腕頭静脈、心膜/消化器の発生、大網、小網、 胃、小腸、結腸、肝臓

回数	月日	時限	講義室	実習内容 (頭側担当者)	実習内容 (尾側担当者)	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
22	11/11(金)	3・4・5.5	解剖	胸部内臓摘出	腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔の局所解剖/消化管の血管系、腹部内臓の摘出	反回神経、大動脈弓の分枝、/上・下腸間膜動脈、腹腔動脈、門脈
23	11/14(月)	3・4・5.5	解剖	胸部内臓摘出、後部縦隔	腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔の局所解剖/肝臓、胃の構造	心臓の自律神経、食道、胸大動脈、奇静脈、胸管/肝臓、胃
24	11/16(水)	3・4・5.5	解剖	後部縦隔	腹腔	解剖学 講座教員	解剖学	縦隔後部の局所解剖/下部消化管の構造	迷走神経、交感神経幹/十二指腸、膵臓、脾臓、空腸、回腸、回盲部、結腸
25	11/17(木)	3・4・5.5	解剖	肺	腹膜後器官	解剖学 講座教員	解剖学	肺の構造/腎臓と副腎	気管、気管支、肺葉、肺区域/腎被膜、腎・副腎の内部構造
26	11/18(金)	3・4・5.5	解剖	心臓	腹膜後器官	解剖学 講座教員	解剖学	心臓の外観/腹大動脈、胸管の走向	心膜、心尖、心房、心耳、心室、冠状動・静脈/腹大動脈の分枝、胸管
27	11/21(月)	3・4・5.5	解剖	心臓	横隔膜	解剖学 講座教員	解剖学	心臓の内景/横隔膜の構造	左右の心房と心室、動脈弁と房室弁、乳頭筋、線維三角/横隔膜
28	11/25(金)	3・4・5.5	解剖	脊柱と脊髄		解剖学 講座教員	解剖学	固有背筋、脊柱と脊柱管の構造、脊髄髄膜の層構造	固有背筋の種類(板状筋、棘筋、最長筋、腸肋筋など)、脊髄髄膜(硬膜、クモ膜、クモ膜下腔、軟膜)、脊髄神経節、頸膨大、腰膨大、馬尾
29	11/28(月)	3・4・5.5	解剖	頭部の切り離し作業、脊髄		解剖学 講座教員	解剖学	頭部・頸部移行部の局所解剖、脊髄の構造	椎骨動脈、蓋膜、環椎十字靱帯、脊髄(前索、側索、後索、前角、側角、後角)
30	11/30(水)	3・4・5.5	解剖	舌骨上筋群と咽頭	峯径管と会陰	解剖学 講座教員	解剖学	顎下三角、オトガイ下部、咽頭の局所解剖/峯径管の局所解剖、会陰と外陰部の解剖	顎二腹筋、顎舌骨筋、舌骨舌筋、舌下神経、咽頭収縮筋、咽頭(鼻部、口部、喉頭部)、舌根、扁桃/深峯径輪、峯径管の内容物、会陰
31	12/2(金)	3・4・5.5	解剖	甲状腺、気管と喉頭	会陰	解剖学 講座教員	解剖学	甲状腺の局所解剖、喉頭の構造/会陰の局所解剖	甲状腺、上皮小体、喉頭の軟骨と筋、声帯/会陰の筋、外肛門括約筋
32	12/5(月)	3・4・5.5	解剖	頭蓋内面と頭部の正中断、口腔	骨盤下部臓器、勃起器官	解剖学 講座教員	解剖学	脳硬膜、硬膜静脈洞、頭蓋窩の理解、口腔の構造/骨盤下部臓器の位置、勃起器官の構成	大脳鎌、小脳テント、硬膜静脈洞、下垂体、脳神経や脈管の通路、舌/前立腺、陰茎・陰核と海綿体、尿道
33	12/7(水)	3・4・5.5	解剖	口腔、鼻腔と鼻中隔	骨盤臓器の観察と取り出し	解剖学 講座教員	解剖学	口腔の構造、鼻腔の構造/骨盤臓器の局所解剖	顎下腺、舌下腺、舌神経、鼻中隔、鼻甲介、/骨盤臓器の位置、膀胱
34	12/9(金)	3・4・5.5	解剖	鼻腔と咽頭鼻部、顔面深層	男性・女性生殖器、直腸と肛門	解剖学 講座教員	解剖学	鼻腔側壁と咽頭鼻部の構造、咀嚼筋と下顎骨の構造/男性・女性生殖器の構造、肛門の局所解剖	翼口蓋神経節、鼻腔の動脈、耳管咽頭口、咀嚼筋、下顎管/男性生殖器(精巣、精管)、女性生殖器(卵管、卵巣、子宮)、肛門柱、歯状線
35	12/12(月)	3・4・5.5	解剖	顔面深層	後腹壁	解剖学 講座教員	解剖学	顎関節と側頭下窩の構造/後腹壁の筋と腰神経叢	顎関節、側頭筋、顎動脈、舌神経、口蓋神経/腸腰筋、腰神経叢
36	12/14(水)	3・4・5.5	解剖	眼球付属器	体幹と骨盤の半切	解剖学 講座教員	解剖学	眼瞼、結膜、涙器の構造/骨盤の血管	眼瞼と結膜、涙腺、涙嚢、鼻涙管/内腸骨動脈の枝、陰部神経管
37	12/16(金)	3・4・5.5	解剖	眼窩と眼球、聴覚器	仙骨神経叢、肘関節	解剖学 講座教員	解剖学	眼窩と眼球の構造、聴覚器の構造/仙骨神経叢、肘関節の構造	外眼筋と支配神経、鼓膜、鼓室、耳小骨/仙骨神経叢、橈骨輪状靱帯
38	12/19(月)	3・4・5.5	解剖	眼窩と眼球、内耳、上顎洞	足関節	解剖学 講座教員	解剖学	眼窩と眼球の構造、内耳の構造、上顎洞/足関節の構造	視神経、眼動脈の枝、毛様体神経節、眼球(水晶体など)、内耳(半規管、蝸牛管)、上顎洞/内腸骨動脈、内側・外側靱帯
39	12/21(水)	3・4・5.5	解剖	最終試問、清掃・納骨		解剖学 講座教員	解剖学	解剖学実習の総まとめ	感謝・畏敬の念

教育ブランドデザインとの関連：2、3、5、6、7

学位授与の方針との関連：1、2、3、4

評価：口頭試問及び剖出チェック

その他：時間厳守、解剖実習を行う者として常識ある態度をとること。

系統解剖学実習は学生4-5人で行う共同作業であるので、正当な理由なくして休むことは許されない。

上記のシラバスは、実習の進行状況に応じて適宜変更することがある。

10/3は、最初の実習の注意事項を説明するので、323講義室に集合すること。

平成29年春に解剖体慰霊祭が予定されているので、全員が出席すること。

## 病理学総論

科目到達目標: 病因と病態 (遺伝子異常と疾患・発生発達異常, 細胞傷害・変性と細胞死, 代謝障害, 循環障害, 炎症と創傷治癒, 腫瘍) 及び関連する代表的な病理組織像について理解する。

科目責任者(所属教室): 梅北 善久(器官病理学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/3(月)	1	121	循環障害 1	加藤 雅子	分子病理学	水腫、充血と鬱血、ショックが説明できる。	浮腫、水腫、充血、鬱血、ショック、心不全、腎性浮腫、脳浮腫
2	10/4(火)	3	121	循環障害 2	加藤 雅子	分子病理学	出血と凝固機序、血栓症が説明できる。	出血、凝固機序、出血性素因、血栓症、血小板、線溶系
3	10/4(火)	4	121	循環障害 3	加藤 雅子	分子病理学	塞栓症が説明できる。	塞栓症、塞栓の種類、肺塞栓症
4	10/5(水)	1	121	細胞傷害 1	梅北 善久	器官病理学	細胞傷害・変性と細胞死の多様性、病因と意義を説明できる。	ATP、フリーラジカル、凝固壊死、液化壊死、乾酪壊死、脂肪壊死、フィブリノイド壊死、Autophagy、老化、アポトーシス、UPR、萎縮
5	10/6(木)	2	121	細胞傷害 2	梅北 善久	器官病理学	糖代謝異常、蛋白質・アミノ酸異常、脂質代謝異常、核酸・ヌクレオチド代謝異常、無機質代謝異常の病態を説明できる。	ラッセル小体、硝子滴変性、アミロイドーシス、脂肪変性、痛風、病的石灰沈着、リポフスチン、ヘモジデロシス、ヘモクロマトーシス、黄疸
6	10/11(火)	1	121	循環障害 4	加藤 雅子	分子病理学	梗塞が説明できる。	梗塞、白色梗塞、赤色梗塞
7	10/11(火)	3	組織系	実習 1: 細胞傷害	塩見 達志 坂部 友彦	器官病理学	細胞傷害に伴う組織像が説明できる。	脂肪肝、マリー小体、硝子滴変性、リポフスチン蓄積
8	10/11(火)	4	組織系	実習 2: 細胞傷害	塩見 達志 坂部 友彦	器官病理学	細胞傷害に伴う組織像が説明できる。	ゴーシェ病、塵肺症、凝固壊死、液化壊死、転移性石灰化
9	10/12(水)	1	121	遺伝性疾患・発生発達異常 1	梅北 善久	器官病理学	遺伝子・染色体異常と発生発達異常や疾患との関連を説明できる。	多因子遺伝、変形、破壊、先天性風疹症候群、全前脳症、Hox gene、PAX gene、レチノイン酸胎芽症、Down 症候群、Klinefelter 症候群、Turner 症候群
10	10/13(木)	2	組織系	実習 3: 細胞傷害	塩見 達志 坂部 友彦	器官病理学	細胞傷害に伴う組織像が説明できる。	ヘモジデリン沈着、メラニン沈着、胆汁鬱滞、粘液変性、アミロイド沈着
11	10/18(火)	3	121	炎症 1	林 一彦	分子病理学	病理学について、炎症の定義、炎症総論	病理学の歴史と役割、炎症の進化、炎症の歴史、炎症による全身反応、炎症と発癌
12	10/18(火)	4	121	炎症 2	林 一彦	分子病理学	炎症、感染症、免疫を含む生体反応の総論とトピックス	炎症反応のカスケード、炎症巣の構造、浸潤細胞、ケミカルメディエーター、免疫応答のパラダイム
13	10/19(水)	1	121	遺伝性疾患・発生発達異常 2	梅北 善久	器官病理学	遺伝子・染色体異常と発生発達異常や疾患との関連を説明できる。	メンデルの法則、伴性劣性遺伝、常染色体劣性遺伝、家族性高コレステロール血症、糖原病、ライソソーム蓄積病、リビート病、ミトコンドリア遺伝子変異、ゲノムインプリンティング
14	10/20(木)	2	組織系	実習 4: 循環障害	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学	循環障害に伴う組織像が説明できる。	浮腫、充血、うっ血、出血、血栓、塞栓、梗塞ショック
15	10/24(月)	1	121	環境要因・栄養障害	梅北 善久	器官病理学	環境要因及び栄養障害による代表的な疾患の病態を説明できる。	フクロームP-450、大気汚染、重金属汚染、アルコール、経口避妊薬、物理的因子による傷害、蛋白エネルギー栄養障害
16	10/25(火)	3	組織系	実習 5: 循環障害	林 一彦 加藤 雅子	分子病理学	循環障害に伴う組織像が説明できる。	浮腫、充血、うっ血、出血、血栓、塞栓、梗塞ショック
17	10/25(火)	4	組織系	実習 6: 循環障害	林 一彦 加藤 雅子	分子病理学	循環障害に伴う組織像が説明できる。	浮腫、充血、うっ血、出血、血栓、塞栓、梗塞ショック

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
18	10/27(木)	2	121	炎症 3	加藤 雅子	分子病理学	炎症の分類、組織形態学的変化と経時的変化	炎症の種類、漿液性炎、線維索性炎、化膿性炎、出血性炎、壊死性炎、壊疽性炎
19	10/31(月)	1	121	炎症 4	加藤 雅子	分子病理学	炎症の分類、組織形態学的変化と経時的変化	慢性炎症、治癒、瘢痕、膿瘍、慢性増殖性炎、肉芽性炎症、結核型肉芽腫、サルコイド肉芽腫、リウマチ結節、Aschoff結節、異物肉芽腫
20	11/1(火)	3	121	創傷治癒 1	加藤 雅子	分子病理学	創傷治癒に関する細胞とその過程	組織細胞反応、肉芽組織反応、間質細胞、組織修復
21	11/1(火)	4	121	創傷治癒 2	加藤 雅子	分子病理学	創傷治癒に関する細胞とその過程	細胞増殖因子、細胞外マトリックス、再生
22	11/2(水)	1	121	腫瘍 1	梅北 善久	器官病理学	腫瘍の定義と良性・境界・悪性腫瘍の特徴を説明できる。	癌腫、肉腫、異型、多形性、退形成、浸潤、転移、最終診断、免疫組織化学
23	11/7(月)	1	組織系	実習 7: 炎症	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学	急性炎症に伴う組織像が説明できる。	浸潤細胞、微小循環、漿液性炎、線維索性炎、化膿性炎、出血性炎、壊死性炎
24	11/8(火)	3	121	感染症 1	千酌 浩樹	感染制御部	感染症による炎症性変化を病原体別に説明	ウイルス感染、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ
25	11/8(火)	4	121	感染症 2	千酌 浩樹	感染制御部	感染症による炎症性変化を病原体別に説明	細菌感染、真菌感染、原虫感染、寄生虫感染、日和見感染
26	11/9(水)	1	組織系	実習 8: 炎症	林 一彦 桑本 聡史	分子病理学	慢性炎症に伴う組織像が説明できる。	治癒、瘢痕、膿瘍、肉芽性炎、結核結節、サルコイド肉芽腫、リウマチ結節
27	11/10(木)	2	組織系	実習 9: 炎症	加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学	慢性炎症に伴う組織像が説明できる。	治癒、瘢痕、膿瘍、肉芽性炎、結核結節、サルコイド肉芽腫、リウマチ結節
28	11/14(月)	1	121	腫瘍 2	梅北 善久	器官病理学	腫瘍の定義と良性・境界・悪性腫瘍の特徴を説明できる。	病理医、細胞診、分化度、異型度、異形成、上皮内癌、腺癌、扁平上皮癌、尿路上皮癌、未分化癌
29	11/16(水)	1	121	腫瘍 3	梅北 善久	器官病理学	腫瘍の定義と良性・境界・悪性腫瘍の特徴を説明できる。	肥大、過形成、転移、播種、ラテン癌、幹細胞、ニッチ、腫瘍マーカー、TNM分類、原発不明癌
30	11/17(木)	2	組織系	実習 10: 腫瘍	塩見 達志 坂部 友彦	器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる。	腺種、高分化腺癌、扁平上皮癌、高分化扁平上皮癌、上皮内癌
31	11/21(月)	1	組織系	実習 11: 創傷治癒	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学	創傷治癒に関する組織像を説明できる。	組織細胞反応、肉芽組織反応、間質細胞、組織修復
32	11/24(木)	1	組織系	実習 12: 腫瘍	塩見 達志 坂部 友彦	器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる。	低分化腺癌、尿路上皮癌、印環細胞癌、過形成ホリープ
33	11/24(木)	2	組織系	実習 13: 腫瘍	塩見 達志 坂部 友彦	器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる。	平滑筋腫、平滑筋肉腫、脂肪腫、脂肪肉腫、神経鞘腫
34	11/28(月)	1	121	免疫病理 1	桑本 聡史	病理部	免疫系の生物学、免疫反応による組織障害が説明できる。	免疫系の細胞、MHC、液性免疫、細胞性免疫、I 型-IV 型過敏性反応、拒絶反応
35	11/30(水)	1	121	腫瘍 4	梅北 善久	器官病理学	がんの疫学、内因及び環境要因について説明できる。	職業癌、遺伝性腫瘍症候群、前癌病変、炎症性発癌、Helicobacter pylori、アスベスト、中皮腫
36	12/1(木)	1	121	免疫病理 2	桑本 聡史	病理部	免疫状態の評価、移植免疫、免疫不全疾患が説明できる。	複合免疫不全症、AIDS、先天性免疫疾患、移植関連疾患
37	12/1(木)	2	121	免疫病理 3	桑本 聡史	病理部	代表的な自己免疫疾患が説明できる。	SLE、シェーグレン症候群、強皮症、混合性結合組織病、IgG4関連疾患等

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
38	12/5(月)	1	121	腫瘍 5	梅北 善久	器官病理学	発癌の分子機構について概説できる。	Oncogene、がん抑制遺伝子、LOH、EGFR、RAS、HER2、TGF- $\alpha$ 、ドライバー変異
39	12/7(水)	1	121	腫瘍 6	梅北 善久	器官病理学	発癌の分子機構について概説できる。	間質の微小環境、VEGF、VEGFR、遺伝子がん症候群、MSI、ゲノム不安定性、Warburg 効果、染色体相互転座、Epigenetics
40	12/8(木)	1	組織系	実習 14: 創傷治癒	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学	創傷治癒に関する組織像を説明できる。	組織細胞反応、肉芽組織反応、間質細胞、組織修復
41	12/8(木)	2	組織系	実習 15: 免疫病理	桑本 聡史 林 一彦 加藤 雅子	分子病理学	免疫反応による組織学的変化・病変を説明できる。	細胞性免疫、過敏性反応、AIDS、SLE、シェーグレン症候群、強皮症
42	12/12(月)	1	組織系	実習 16: 総復習	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学	循環障害と炎症性疾患の代表的な組織像について説明できる。	
43	12/14(水)	1	121	腫瘍 7	梅北 善久	器官病理学	発癌の分子機構について概説できる。	MYC、Cyclins、CDK4、Rb、p53、microRNA、WT1、APC、 $\beta$ -catenin、p16、p21、TGF- $\beta$ 、BRCA1、APC、 $\beta$ -catenin、PTEN、VHL、HIF1、Apoptosis、細胞老化、テロメア、テロメラーゼ
44	12/15(木)	1	121	炎症 5 特別講義	吉野 正	分子病理学 (非常勤講師)	H. pylori感染の病態と関連疾患等について説明できる。	H. pylori感染の疫学、診断方法、慢性胃炎、MALTリンパ腫、胃癌、ITP
45	12/15(木)	2	121	腫瘍 8	坂部 友彦	器官病理学	浸潤と転移の分子機構について概説できる。	細胞外基質、EMT、MMPs、E-cadherin、Catenins、Cathepsin、Laminin
46	12/19(月)	1	121	腫瘍 9	梅北 善久	器官病理学	主な小児がんの種類と特徴、腫瘍免疫・宿主に及ぼす影響について概説できる。	神経芽細胞腫、Wilms tumor、肝芽腫、白血病、横紋筋肉腫、髄芽腫、腫瘍抗原、NK細胞
47	12/21(水)	1	121	腫瘍 10	梅北 善久	器官病理学	ウイルス発癌及び化学発癌の分子機構について説明できる。	HTLV-1、HPV E6、HPV E7、EBV、HBV、Initiation、Promotion、AflatoxinB1
48	12/22(木)	1	組織系	実習 17: 総復習	林 一彦 加藤 雅子 桑本 聡史	分子病理学	循環障害と炎症性疾患の代表的な組織像について説明できる。	
49	12/22(木)	2	組織系	実習 18: 腫瘍	塩見 達志 坂部 友彦	器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる。	扁平上皮癌、低分化型腺癌、尿路上皮癌、印環細胞癌、過形成ホリープ
50	12/26(月)	3	組織系	実習 19: 腫瘍	塩見 達志 坂部 友彦	器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍の代表的な組織像が説明できる。	平滑筋腫、平滑筋肉腫、脂肪腫、脂肪肉腫、神経鞘腫
51	12/26(月)	4	組織系	実習 20: 総復習	塩見 達志 坂部 友彦	器官病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍、細胞傷害の代表的な組織像が説明できる。	
52	1/16(月)	3	組織系	実習 21: 実習試験(器官病理)	塩見 達志 坂部 友彦	器官病理学	細胞障害、腫瘍の代表的な組織像について説明できる。	

教育ブランドデザインとの関連: 2, 3, 4

学位授与方針との関連: 1、2、3

評価: 定期試験、\*組織実習、学習態度を総合的に評価する

\*バーチャルスライドシステム等を利用した試験+レポート(実習ノート)+学習態度

参考書(講義用推奨): Basic Pathology (9th eds.), ルービン病理学(西村書店), 解明病理学(医歯薬出版), 標準病理学(医学書院)

参考書(実習用推奨): 組織病理アトラス(文光堂), ダイナミック病理学(西村出版)、病理組織の見方と鑑別診断(医歯薬出版)

## 社会環境医学

科目到達目標:健康、疾病を取り巻く社会的環境についての知識と考え方を習得する

科目責任者(所属教室):尾崎 米厚(環境予防医学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(火)	1	121	疾病の概念	尾崎 米厚	環境予防医学	健康、障害と疾病の概念を説明できる。	健康の定義、健康水準の尺度、健康の権利、WHOの定義
2	10/5(水)	2	121	社会構造と健康・疾病	黒沢 洋一	健康政策医学	家族、コミュニティ、地域社会、国際化と健康、疾病との関係を説明できる。	家族、地域社会の変貌、人口構造の変化、労働力人口の変化、高齢化の特徴、国際化
3	10/12(水)	2	121	衛生行政	尾崎 米厚	環境予防医学	国際的公衆衛生行政の動向と厚生行政、健康危機管理、衛生行政の意義と内容を説明できる。	公衆衛生医、厚生行政の実際、医療政策、ヘルスプロモーション、ハイリスクアプローチ、ホスピタリティアプローチ、ソーシャルキャピタル、健康危機管理
4	10/18(火)	1	121	環境と健康	黒沢 洋一	健康政策医学	環境と健康・疾病との関係(環境と適応)を理解する。	環境と適応、適応の例、環境要因の分類、ホメオスタシス、主体環境系、環境形成作用、社会的適応
5	10/19(水)	2	121	保健、医療、福祉システム	尾崎 米厚	環境予防医学	医療制度、福祉制度、わが国の保健医療福祉システムの特徴を説明できる。	医療制度改革、医師確保対策等医療政策のトピックス、保健医療福祉制度の国際比較、医療法、医療計画、医療体制、医療従事者
6	10/25(火)	1	121	労働衛生、産業保健	能勢 隆之	健康政策医学(非常勤講師)	産業保健(労働関係法規を含む)を概説できる。	労働基準法、労働安全衛生法、産業医、作業環境管理、作業管理、健康管理、労働災害、職業性疾患、じん肺、放射線、職業性腰痛
7	11/1(火)	1	121	母子保健、学校保健	金城 文	環境予防医学	母子保健および学校保健の実態、母子保健対策や学校保健対策の概要を説明できる。	母子保健法、出産・育児に関する制度、母体保護法、母子保健統計、児童福祉法、児童虐待防止法、妊産婦への施策、疾病や障害を持った子供の支援策、学校保健安全法、校医、養護教諭、学校健診、学校感染症、等
8	11/2(水)	2	121	生態系、環境の変化と健康	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化と健康、地球環境の変化と健康との関連が説明できる。	地球環境の変化、温暖化、生態系への影響、黄砂、PM2.5、大気汚染、水質汚濁、水問題、乾燥地、生体循環、生体濃縮、室内大気汚染、ディーゼル排気、環境基本法、酸性雨、オゾン層破壊、エルニーニョ
9	11/8(火)	1	121	環境発癌物質	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(環境発癌物質)	ダイオキシン、電磁波、放射線、職業性曝露物質
10	11/9(水)	2	121	環境保健 公害対策	尾崎 米厚	環境予防医学	環境汚染と健康、公害病について概説できる。	四大公害病、薬害、現代の公害、世界の公害、公害対策
11	11/15(火)	1	121	社会福祉、障害者福祉	天野 宏紀	健康政策医学	社会福祉制度、障害者福祉の概要を説明できる。	社会保障制度、障害の概念、国際生活機能分類、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、QOL、障害者の福祉施策、障害者基本計画、障害者手帳、在宅障害児・者、障害者総合支援法、社会福祉、地域福祉、生活保護、医療扶助
12	11/16(水)	2	121	成人保健	尾崎 米厚	環境予防医学	成人保健の実際、成人保健対策の概要を説明できる。	健康増進法、健康日本21(2次計画)、生活習慣病対策、特定健康診査、特定保健指導、がん対策基本法、がん診療連携拠点病院、がん対策推進基本計画
13	11/22(火)	1	121	内分泌攪乱物質	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(内分泌攪乱物質)	ダイオキシン、DES、PCB、BPA、スチレン・ダイマー、ホリマー、シックハウス症候群
14	11/29(火)	1	121	高齢者保健	天野 宏紀	健康政策医学	高齢者保健の実際、高齢者保健対策の概要を説明できる。	老人福祉法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度、介護保険法、要介護認定、ケアマネジメント、介護給付、介護予防、高齢者総合的機能評価(CGA)
15	11/30(水)	2	121	国際社会と健康・疾病	尾崎 米厚	環境予防医学	国際保健の現状、課題、方法を説明できる。	世界の疾病の状況、国際保健の課題、開発と健康、ジェンダー、貧困、飢餓、国際保健の方法
16	12/6(火)	1	121	救急医療	黒沢 洋一	健康政策医学	救急医療の実態と課題を説明できる。	救急医療体制、一次救急、二次救急、三次救急、休日夜間医療、高度救命救急センター、救急搬送、救急救命士、小児救急、周産期救急
17	12/7(水)	2	121	在宅医療、終末期医療、へき地医療	金城 文	環境予防医学	在宅医療、終末期医療、へき地医療の実際と課題を説明できる。	終末期ケア、緩和ケア、地域医療、へき地医療、離島医療、在宅医療、家庭医療、地域包括ケアシステム



回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
18	12/13(火)	1	121	有害物質、環境基準と環境影響評価	黒沢 洋一	健康政策医学	生態系の変化が健康と生活に与える影響(有害物質)、環境と健康・疾病との関係(環境基準と環境影響評価)を説明できる。	環境基準、許容濃度、生体影響評価、環境影響評価、生物濃縮、量-反応関係、量-影響関係、リスクコミュニケーション、有機溶剤、特化物、酸欠
19	12/14(水)	2	121	災害医療	尾崎 米厚	環境予防医学	災害医療の実態と課題を説明できる。	災害の種類と被害、災害拠点病院、健康危機管理、災害医療体制、救急搬送、広域搬送、トリアージ、災害時保健医療活動、原子力災害、メンタルケア
20	12/20(火)	1	121	食品保健、薬事行政	天野 宏紀	健康政策医学	食中毒の実態、食品保健対策、薬事衛生対策、最近の薬害事例について説明できる。	食中毒、自然毒、食品衛生法、食品表示、食品添加物、遺伝子組み換え食品、保険機能食品、特別用途食品、健康食品、HACCP、薬事行政、薬害、医薬品副作用被害、生物由来製品感染、被害者救済制度、安全性と有効性の確保法
21	12/21(水)	2	121	精神保健、難病	金城 文	環境予防医学	精神疾患の実態、精神保健対策の概要、難病対策の概要、主な難病について説明できる。	障害者自立支援法、精神保健指定医、任意入院、措置入院、医療保護入院、精神医療審査会、自立支援医療、精神通院医療、精神保健福祉法、精神保健福祉センター、精神障害者保健福祉手帳、自殺対策、発達障害者支援、高次脳機能障害、心神喪失者等医療観察法、こころのバリアフリー、特定疾患、難治性疾患、指定医、難病医療拠点病院、難病医療支援ネットワーク、難病医療コーディネーター、難病医療地域基幹病院、難病の医療費助成、難病情報センター、難病相談・支援センター、難病患者者就労サポーター
22	12/28(水)	2	121	公衆栄養	天野 宏紀	健康政策医学	公衆栄養の実態、課題、対策について説明できる。	国民健康栄養調査、食事摂取基準、推定エネルギー必要量、食事バランスガイド、主要栄養素の実態
23	1/4(水)	2	121	地域医療システム、地域保健医療計画、病診連携、病病連携	黒沢 洋一	健康政策医学	地域医療の機能と体制(地域保健医療計画)、地域医療の機能と体制(へき地医療)、病診連携と病病連携、について説明できる。	地域医療の定義、地域医療の要素、地域保健医療計画、医療圏、必要病床数、医療資源、都市部における地域医療、病診連携、医師会、地域医療政策
24	1/5(木)	2	121	保健所の活動	吉田 良平	環境予防医学(非常勤講師)	保健所の活動の実際、公衆衛生医の役割について説明できる。	健康づくり活動、環境衛生、保健医療福祉システム作り、健康危機管理、喫煙対策、感染症対策、医師確保対策
25	1/11(水)	2	121	都道府県の衛生行政	藤井 秀樹	環境予防医学(非常勤講師)	都道府県庁の衛生部の活動の実際、公衆衛生医の役割。	健康づくり活動、環境衛生、保健医療福祉システム作り、健康危機管理、喫煙対策、感染症対策、医師確保対策
26	1/12(木)	2	121	感染症対策	金城 文	環境予防医学	日本と世界の感染症の実態、感染症対策の方法と課題について説明できる。	新興感染症、再興感染症、新感染症、感染症法、検疫法、予防接種法、サーベイランス、隔離、医療体制、特定感染症指定医療機関、院内感染症、患者搬送、アウトブレイク、パンデミック、バイオテロリズム、結核対策
27	1/18(水)	2	121	公衆衛生における対策事例	尾崎 米厚	環境予防医学	公衆衛生対策事例を理解する。	国(内閣府)におけるアルコール対策の事例をあげ、国際的動向に呼応し、立法化され、それに沿って省庁連携し、新たな対策を作り上げるプロセスを説明する。
28	1/19(木)	2	121	医療経済と国民医療費	天野 宏紀	健康政策医学	医療経済学の方法と適応事例を説明できる。	費用対効果、費用便益、国民医療費、医療費削減方法、診療報酬、公費医療、医療の質の評価、医療資源と医療サービスの価格形成
29	1/25(水)	2	121	環境と健康 考え方と事例	福島 哲仁	環境予防医学(非常勤講師)	環境と健康についての考え方の基本を整理。	リスク、安全、安心、リスクコミュニケーション、環境と健康
30	1/26(木)	2	121	公衆衛生のキャリアパス	黒沢 洋一	健康政策医学	公衆衛生分野の専門性の獲得方法、専門家養成方法を理解する。	公衆衛生専門職、公衆衛生大学院、MPH、公衆衛生医、産業医、海外留学、国際機関

教育ブランドデザインとの関連: 1、2、3、4、6、7

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

評価: 定期試験90%、講義演習での態度10%

-[医2-14-

科目責任者(所属教室): 松浦 達也(統合分子医化学)

[illegible]

その他：実習書は説明会の時に配布する（全員出席のこと。遅刻をしないこと。これも出席に含める）。

## 基礎医学特論

科目到達目標:加齢・老化、自律神経調節の脳内機構、発熱の生理について説明できる。発明楽、やる気の心理学について考える。キャリア形成について考える。

科目責任者(所属教室):海藤 俊行(学部教育支援室)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	12/26(月)	1	121	加齢・老化(1)	中野 俊也	医学教育学	加齢・老化による諸臓器、器官の変化を理解する。	加齢に伴う各臓器・器官の形態・機能の変化
2	12/27(火)	1	121	発明楽(1)	植木 賢	次世代高度医療推進センター	過去の発明の成り立ちについて理解する。	研究の要素、臨床と研究の違い、発明を生み出す発想スキル、医工連携
3	12/28(水)	1	121	発明楽(2)	植木 賢	次世代高度医療推進センター	発明とイノベーションの違いを理解する。身のまわりの経験から、自ら発明してみようという興味・姿勢をもつ。	イノベーション、内発的動機、外発的動機、自己実現理論、マズロー欲求6段階
4	1/4(水)	1	121	自律神経調節の脳内機構	木場 智史	統合生理学	自律神経調節の脳内機構の解明研究の一端を紹介して研究アプローチの考え方を理解する。	交感神経系、副交感神経系、運動、恐怖心、情動ストレス
5	1/6(金)	1	121	発熱の生理学	渡邊 達生	統合生理学	発熱発現の機序を説明できる。	発熱、LPS、インターロイキン、プロスタグランジンE、視床下部
6	1/10(火)	1	121	老化と遺伝子	中根 裕信	解剖学	老化に関わる遺伝子について早老症を通して理解する。	早老症(ハッチンソン・ギルフォード症候群、コケイン症候群、ウェルナー症候群)、小児癌生存者の早期老化
7	1/11(水)	1	121	キャリア形成	山田 七子	卒後臨床研修センター	医師のキャリアパスについて理解する。初期研修、後期研修、専門医制度、研究について理解する。プロフェッショナリズムについて考える。	医師のキャリアパス、初期研修、後期研修、専門医制度、研究(基礎・臨床)、プロフェッショナリズム
8	1/13(金)	1	121	加齢・老化(2)	中野 俊也	医学教育学	加齢・老化による諸臓器、器官の変化を理解する。	高齢者医療の特異性、老年病

教育ブランドデザインとの関連:2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

評価:定期試験62.5%。レポート37.5%。その他、講義中に小テストを行い、評価に加味する。